

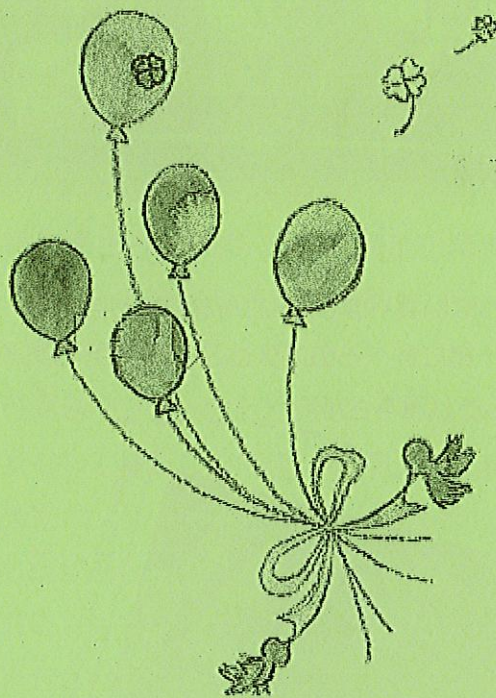
HSK

こころから

60号

2017. 7

情がわかる
心の中は
ふーん
平和に
願いとびくと



昭和48年1月13日第3種郵便物認可

HSK通巻番号544号

発行 2017年7月10日 (毎月10日発行)

編集 住所: 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名: 特定非営利活動法人 (NPO)

精神障害者を支援する会

TEL: (011) 736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定価 50円 (会費に含む)

2017年5月4日(木)

アサヒビール園

「ロイン亭」にて

お花見



初めて参加した皆さんの感想です

いっぱい食べました。こんなにいっぱいの人と一緒に食べるのは久しぶりで、とても楽しかった。(瀧本さん)

とっても楽しかったです。

(石垣さん)

楽しかった。(近澤さん)

初めて拝見する顔の人もいましたけど、私もたのしくいっぱい食べたので、良かったと思います。(恵さん)

ラム肉おいしかったです。(川勝さん)

皆さんとても手慣れているなと思いました。楽しかったです。

美味しかったです。(松浦スタッフ)

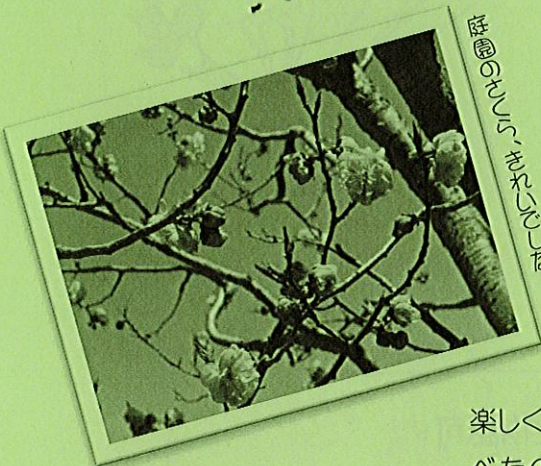
す。(大橋スタッフ)

楽しくいっぱい食べたので、良かったと思います。(光輝さん)

お肉がやわらかくて美味しかったです。(荒川さん)

食いすぎたあ。おいしかったです。(藤井さん)

節度のある飲み方ができたと
思います美味しかったです。(林さん)





⑧ 明日へつなご希望求めて
— 支援する会物語 (第四回) —

細川久美子

<美樹ちゃんがやってきた>

入居第1号は、19歳的美樹ちゃんです。美樹ちゃんが北海道女性援助センターの支援員に付き添われてやってきたのが、9月の下旬のことでした。じっと私の顔を見るだけで、にこりともせずに見ただけ座っているだけでした。それでも若根荘を訪れる前から入居することを決めていたようです。

10月1日、美樹ちゃんは若根荘の住人となりました。たった一人の入居だったために、スタッフとなった現在勤医協病院の浦河に勤務している吉田陽子さんと、統合失調症でボランティアの美ちゃん、そして細川の3人で、毎日交代で泊まり込みをしながら若根荘の生活が始まったのでした。後で述べますが、その頃の細川は、精神疾患によって育てることが出来なくなった母子家庭のお子さんを育てていました。この時期4才になった子どもと一緒に泊まり込みをし、朝、保育園へ送ってから仕事をするといった中での暮らしをしていました。

10月9日は、美樹ちゃんが20歳の誕生日を迎えた日。事務所でみんなが「おめでとう」と大きなケーキを切り分けて、そのケーキを食べながら美樹ちゃんは初めて笑顔を見せました。その日から私たちは、美樹ちゃんのお父さんであり、お母さん、お姉さんと呼ばれ、若根荘に笑い声がはじけていったのです。

<つらい思いが糸を結ぶ>

美樹ちゃんは、幼児のころに両親が離婚、お父さんとお兄ちゃんと3人で暮らしていたのですが、

赤平市に住んでいた父方のおばあちゃんの所へ石川県から追われるように、移り住んできたそうです。しかし間もなく父と兄は、美樹ちゃんに何も言わずに何処かへ行ってしまいました。美樹ちゃん15歳の秋のことでした。

以来、美樹ちゃんは、中学校もろくに行けず、道東の温泉にあるホテルで働くようになったのですが、人との付き合い方もろくに知らないで育ってきたためか、無理に笑顔を作る半面、心が次第に病に侵されはじめ、ついに網走の精神科病院に入院、その後北海道女性援助センターへの入所となったということでした。

女性援助センターの担当者は、そんな美樹ちゃんが安心して暮らせる住まいを探していました。女性援助センターが「北海道婦人相談所」だった頃から縁があり、その援助センターからの相談で、若根荘に入所することとなったのでした。

とてもさびしがり屋の美樹ちゃんでしたが、次第に明るくなってきて、細川の娘とも兄弟のように仲良くなって、本当に家族のような日々を長く送ることとなったのでした。

(次号につづく)



【共同作業所・HAPPY】2017年度の目標

5月25日にHAPPY総会を行い、昨年度作業の振り返りと、今年度の全体目標・個人目標を確認しました。

【体調】

- ・元気に作業ができるために体調をととのえよう！
- ・メタボや腰痛を防ぐ。ラジオ体操、ストレッチをしっかりと行う。
- ・休日にしっかり休んだり、生活リズムが崩れないように気を付けよう。

【生活】

- ・天気、気温を確認して服装に気を付け、帽子・傘を忘れないこと。
- ・身だしなみを清潔にする。
- ・ハンカチを忘れない。

【活動】

- ・みんなが過ごしやすい作業所を目指そう。
- ・きょうされん、札回連、道回連の活動に参加しよう。
- ・新・人間裁判をがんばろう！

【学習】

- ・病気や障害、制度について学習する。
- ・みんなでできる学習会をとりくんでみよう。
- ・HAPPYのルール(きまりごと)を確認しよう。
- ・みんなでできる学習もしよう。新聞や TOMO を読む。

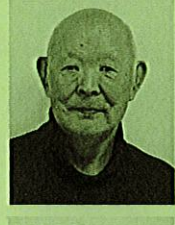
～個人目標～



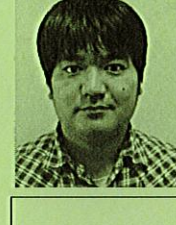
井上大朔さん
「今年度は1時間半の食器当番に入りたい。ポプリ型取りを再開する。」



岸山周二さん
「食器洗いの時の片づけを覚えて、1時間半の食器洗いに挑戦する。」



阿部幸一さん
「はんこ押しを楽しんで頑張る。」



脇川洋文さん
「今年は食事作りを頑張つて、来年は1時間半の食器当番に入りたい。」



池田景子さん
「作業はゆっくり丁寧に。他の作業や食器当番も覚える。作業所に慣れる。」



山崎 稔さん
「ロックデコののり付けを頑張る。」



川島義和さん
「早く腰を治して HAPPY で作業をしたい。」



池田道子さん
「朝当番・食器当番を少しずつ頑張りたい。」



kさん
「食器当番を少しずつ頑張りたい。」



吉岡政信さん
「体調を整え、自分より先に通所しているメンバーを見習いより良く作業する。」



工藤英二さん
「体調をととのえて、作業を頑張っていきたい。」



山田琢也さん
「今後も色々な事にチャレンジし、自信を持って取り組むたい。」



高坂千秋さん
「1年を通して体調管理に気をつける。」



五十嵐満さん
「無遅刻・無欠席を引き続き頑張る。工賃1万円を目指す。」



中澤昭子さん
「作業所に慣れ、ポプリのり付けやほつき、掃除を任せてもらえるようになる。」



吉田 伸さん
「1時間半の食器当番でうまく包丁を使いたい。ポプリの型取りをやってみたい。」



内田民江さん
「無理や無茶をせず、行う仕事は責任を持つ。」



樋口ひとみさん
「今までと同じように全ての事に意欲と好奇心を持って、気持ちを継続させる。」



林 妙子さん
「やったことのない事をやってみたい。体調を整えてある程度通所する。」



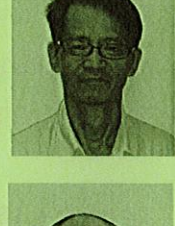
川勝 学さん
「寝る時間を一定にし、朝も起きられるようにする。みんなの名前も覚える。」



串田浩二さん
「夏バテしやすいので対策に気をつけたい。偏頭痛の時は速やかに薬を飲み休む。」



内城雅仁さん
「休まず通所し作業を行う。皆と仲よく過ごしA型に繋がる1年にする。」



川畑正人さん
「入院前の体調に戻し、当番やバザーも参加したい。工賃5000円を目指す。」



木崎直生さん
「すこしでもHAPPYで参加をしたい。」



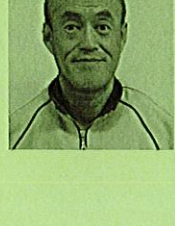
野邊地淳子さん
「皆の名前を覚えたいです。色々な作業に挑戦したいです。」



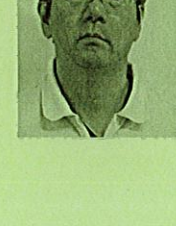
斉藤麻実さん
「食器当番と、お米の袋にイラストを描く作業を頑張りたいです。」



達崎竜一さん
「今年1年は入院しないように頑張る。」



互野利弘さん
「ポプリを頑張る。ミシンにも挑戦する。」



伊藤勇人さん
「ロックデコと道新をしっかりと覚え、新しい作業(特に接客)を覚えたい。」

水沼松男さんは、現在入院中です。早く元気になって下さい。

「支援する会」職員・ボランティア紹介

役員の方々



今年度も、
よろしく願いいたします。

就労継続支援B型事業所
「共同作業所・HAPPY」



田中理事 松崎理事 片山理事
吉田監事 三浦理事長 細川専務理事 申斐理事

市議、国語研究者、財政専門家、相談のエキスパート、労働問題専門家、万能選手、そしてパテン師と多士済々の面々です。



安田敏彦 寺田詩織 中村春美
曾我理絵 青野安雄

ほう れん そう
(報告) (連絡) (相談)

会計担当



長井順子

笑いすぎて、目が
なくなりました!!
金庫番です。

ボランティアの方々



菊地満美

笑って過ごせる
ようにやっていけ
れば良いと思っ
ています。



荒岸康子

数時間お手伝い
させて頂いていま
す。楽しい時間を
過ごしています。



安彦洋子

トートバック、
巾着等作っていま
す。とても毎回楽
しいです。



細川徹恵

元気な皆さん
と会える事を楽
しみにしていま
す。



磯谷敏雄

皆さんに逢う
のが楽しみです。
これからも宜し
くお願いします。



宮崎砂和子

皆で仲よく楽
しく過ごせるこ
とが出来たら良
いと思います。

ダイアの郷支援センター
「食事担当」



鈴木由夏 平柳 京 小田島征代

だんご三姉妹。支援する会の胃袋
は私たちが握っています!

地域活動支援センター
「ダイアの郷支援センター」



長谷川香代 米村敦子 鈴木博子

コンビを組んで一年。日々の色々な出
来事に振り回されながらも、一つ一つク
リアしながら前進中です。

「グループハウス結」



藤原美佳 吉田直美

コンビ2年目!より良い
「結」を作っていきたいです。

グループホームです!

「若根荘」



松浦めぐみ 池田啓子

超♡♡ラブラブでえ〜す♡
新しいコンビで頑張ってます
(*_*).

「マザーハウスぽぷら」



織田陽子 松永由美子

ベテランの松永スタッ
フと、新米の織田が奮闘し
てます。

「ひなた」



千葉久子 大橋紀子

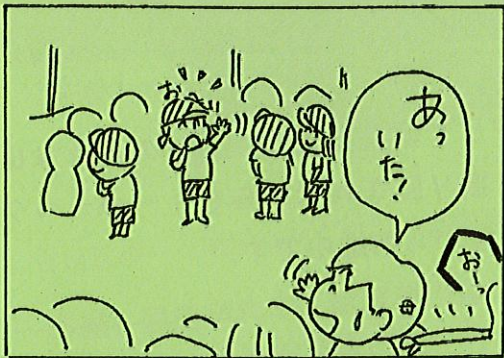
笑いの止まらない
「ひなた」です。



板谷幹男 縮船洋子

二人力合わせて、七人の
入居メンバーのお世話を頑
張りたいと思います

4コマまんが



《寄付金・寄贈品》
 当会の活動に対し、ご支援いただき
 厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2017. 3. 21~2017. 6. 20

(有) イブ、(有)京屋電機、フジモト青果店、伊藤勇人、片石松蔵、米澤康子、長沼綾子、石戸谷敦子、柴田、伊藤昭子、稗田武、井上ひさ子、今井延子、鈴木麻代、菊地、杉浦、鎌田、松崎、浜林、伊藤しのぶ、内山、高橋、田湯隼斗、伊藤、アマノ、野邊地、吉田弘、サトウ



〜ご協力をお願い〜

『書き損じハガキ、ありませんか?』

いつもご協力いただきありがとうございます。
 支援する会では“書き損じハガキ”を集めています。
 頂いたハガキは、支援する会の財政活動に使わせて頂きます。
 ご協力宜しくお願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

発行 2017年7月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号544号

編集人

住所:札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名:特定非営利活動法人(NPO)精神障害者を支援する会

TEL:(011)736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定価 50円(会費を含む)

<編集後記>

■本格的な夏を迎える前に、暑さと戦う今日この頃です(笑)。年々参加者が増える「お花見」、今年も沢山のメンバーと楽しい時間を過ごすことができました。これからも、たくさんの方をメンバーと共に過ごしていけたらと思っています。(米村)

■2001年10月に創刊した「ころから」が16年の年月を経て60号を迎えました。日々に追われると目標を忘れがちになりますが、60号を眺めて頂き、HAPPYと個々のメンバーが進む先と一緒に確認し応援して頂ければ幸いです。私は100号を当面の目標に、支援する会の歴史を一号づつ綴っていきたいと思っています。(藤原)